

令和7年度 岸和田市指定管理者モニタリングチェックシート

1. 基本情報

施設名（所在地）	岸和田市五風荘（岸和田市岸城町18番1号）		
指定管理者名	株式会社岸和田グランドホール		
指定管理料	0円	指定管理期間	平成31年4月1日～令和11年3月31日
公募/非公募	公募	施設所管課名	魅力創造部観光課
施設運営の根拠となる計画等	観光創造ビジョン・岸和田、岸和田市五風荘条例		

2. 事業報告書の概要

管理業務の実施状況	岸和田市五風荘は建物と庭園が市指定文化財であることから、修繕が必要な箇所が出てきた場合は本市の所管課及び文化財所管課にもすぐに報告があり、情報共有されている。庭園内の植栽等も適切に管理されている。
運営業務の実施状況	協定書に基づき、地元食材を活用した和食料理店を構築し、食文化の情報発信を行っている。地域のイベントへの参加や、管理施設を活用した観光コンテンツへの協力を積極的に行い、PRに努めている。
施設の利用状況	利用者数推移（3か年度分記入してください。）
	R5：36,978人 R6：33,968人 R7：31,927人
	入場料収入等推移（3か年度分記入してください。）
	R5：210,444,942円 R6：202,506,290円 R7：191,259,314円（すべて消費税含まず）
	上記推移の理由等
	令和6年度以降、利用者数が前年度と比較して減少した。令和6年度に施設のメンテナンスのために臨時休業日を設けることとしたが、その休業等の日数は令和6年度が年間20日間、令和7年度が年間24日間となっており、利用者減少の一因であると考えられる。また、周辺の観光施設ではおおむね利用者が増加しているが、観光客の増加を五風荘の誘客につなげられていないものとする。

3. モニタリングチェック

総合評価	個別評価・理由・意見等	
A1	1 履行確認	
	A1	適切な管理運営が行われている。
	2 サービス水準の確認	
	A2	サービス向上研修の実施により、適切なサービス水準が保たれている。
	3 事業収支の確認	
	A	予算書と決算書に大きな乖離がある。お城周辺全体としてインバウンドを含む国内外からの観光需要が回復基調である中、更なる集客を図る必要がある。
総合評価理由・意見等		
収支予算書と収支決算書との間に差が認められ、申請当初に計画していた売上高を達成できていない状況が続いているものの、コロナ禍後は回復の兆しを見せており、利用者増に関する取り組みは一定評価できる。しかし、令和6年度、令和7年度と利用者数が減少している一方、お城周辺の観光需要（インバウンド含む国内外の観光需要）全体としては回復基調であることから、五風荘の誘客を図り引き続き利用者増に繋げていく必要がある。		

4. 今後の方向性

業務実績を振り返り、今年度どのような取組みを実施する予定か（今年度の事業計画書等に反映された点）。	関西万博の開催により、世界に対する「大阪」の知名度が確実に向上したこのタイミングを好機と捉え、府域周遊を念頭に、外国人観光客の動向を注視し、関連会社が経営するホテルとの連携やSNS・メディアを活用して、国内外からの観光客の誘客を図る。 また、城下町サミットにおいて近隣施設と連携し、岸和田城周辺の賑わい創出に引き続き取り組む。 令和7年度末、初めて岸和田城お堀において舟遊び事業を実施した。今後も継続して実施する。 岸和田城の堀の浄化に関しても、継続して実施する。
---	---